

平成18年3月期 中間決算説明資料

株式会社ディーエムエス





経営の基本方針

『株主には利益還元で奉仕を』

『顧客にはニーズにあった質のよいサービスを』

『社員には幸せで豊かなくらしを』

『社会には貢献を』



中長期的な経営戦略

企業と消費者の双方向の情報交換を実現する
ダイレクトコミュニケーションの先進企業として

■ 業務センター新設による生産体制の効率化と内製化促進

■ 最新IT技術を駆使した各種機能の拡張と高度化によるトータルサービスの充実

■ 新商品開発や提携戦略による業務領域の拡張と競争力の向上

■ 汎用性を高めた情報処理および物流加工運営システムを展開しての周辺業務領域への進出

■ 個人情報を中心とする機密情報管理の徹底

などを主要テーマとし、業界先進企業にふさわしい強固な収益基盤を構築する。

平成18年3月期 中間期経営成績

連結

売上高	8,724百万円	(前年同期比19.1%増)
経常利益	328百万円	(前年同期比412百万円増)
中間純利益	133百万円	(前年同期比277百万円増)

個別

売上高	8,581百万円	(前年同期比19.3%増)
経常利益	333百万円	(前年同期比407百万円増)
中間純利益	138百万円	(前年同期比271百万円増)

<連結子会社> 「株式会社デック」 「東京セールス・プロデュース株式会社」

損益計算書

【連結】

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減
売上高	7,322	8,724	1,401
売上原価	6,664	7,724	1,060
売上総利益	658	999	341
販売費及び一般管理費	740	672	△68
営業利益	△82	327	410
営業外収益	37	60	23
営業外費用	39	60	21
経常利益	△84	328	412
特別利益	-	7	7
特別損失	27	99	72
税引前中間(当期)純利益	△111	236	347
法人税,住民税及び事業税	4	46	41
法人税等調整額	27	55	28
中間(当期)純利益	△143	133	277

【個別】

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減
売上高	7,192	8,581	1,388
売上原価	6,563	7,610	1,047
売上総利益	629	971	341
販売費及び一般管理費	710	642	△67
営業利益	△80	328	409
営業外収益	42	64	22
営業外費用	36	60	24
経常利益	△74	333	407
特別利益	-	7	7
特別損失	26	99	73
税引前中間(当期)純利益	△101	240	341
法人税,住民税及び事業税	4	46	41
法人税等調整額	27	55	28
中間(当期)純利益	△132	138	271

貸借対照表

【連結】

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減
流動資産	4,821	5,275	454
固定資産	10,346	7,173	△3,172
資産合計	15,167	12,449	△2,718
流動負債	4,959	3,508	△1,451
固定負債	4,535	4,369	△165
負債合計	9,495	7,878	△1,616
資本合計	5,672	4,570	△1,101
負債、少数株主持分 及び資本合計	15,167	12,449	△2,718

【個別】

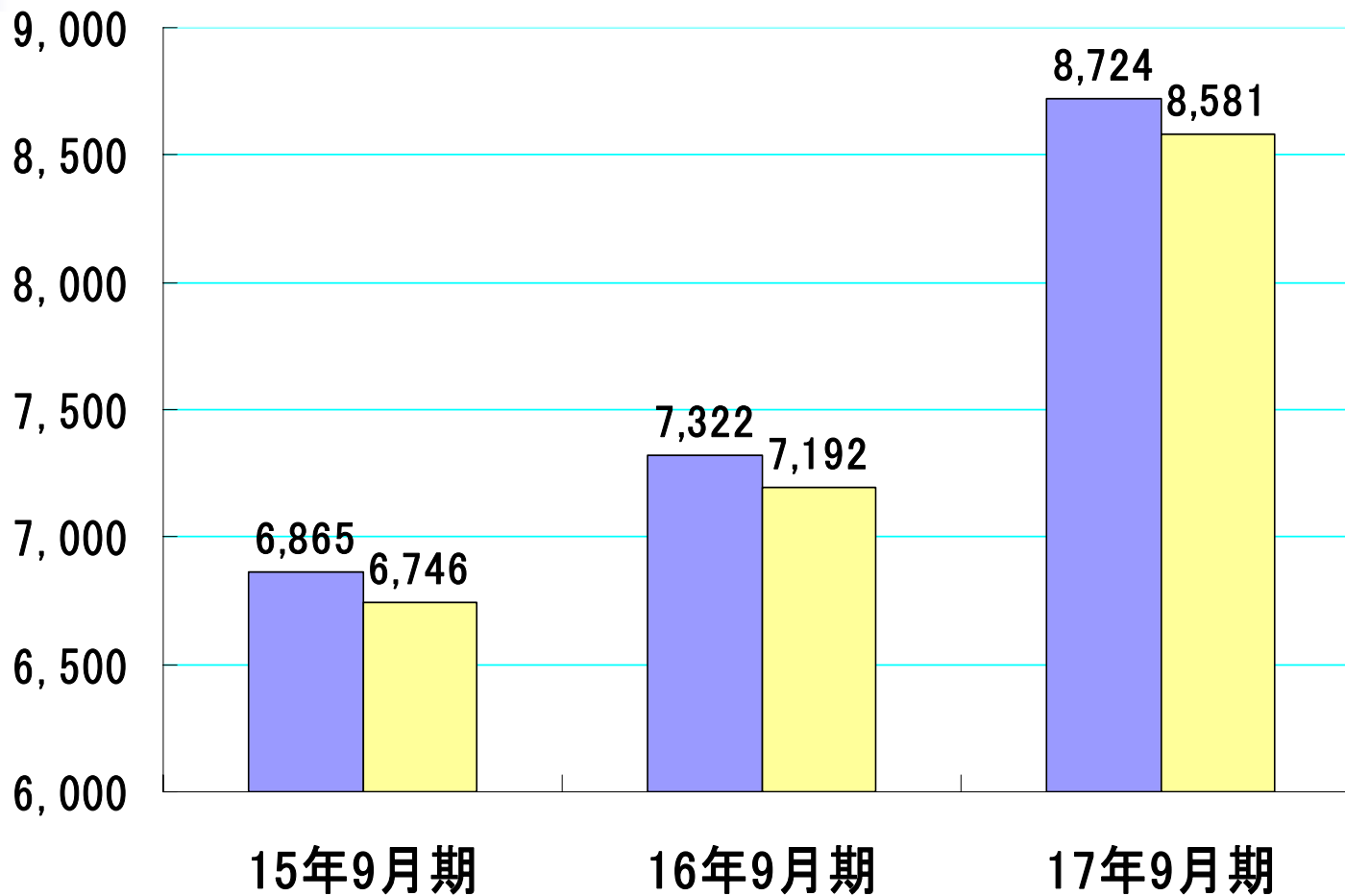
(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減
流動資産	4,633	5,086	452
固定資産	10,412	7,240	△3,171
資産合計	15,046	12,327	△2,719
流動負債	4,943	3,486	△1,456
固定負債	4,535	4,367	△167
負債合計	9,478	7,854	△1,623
資本合計	5,567	4,472	△1,095
負債資本合計	15,046	12,327	△2,719

売上高の推移（中間）

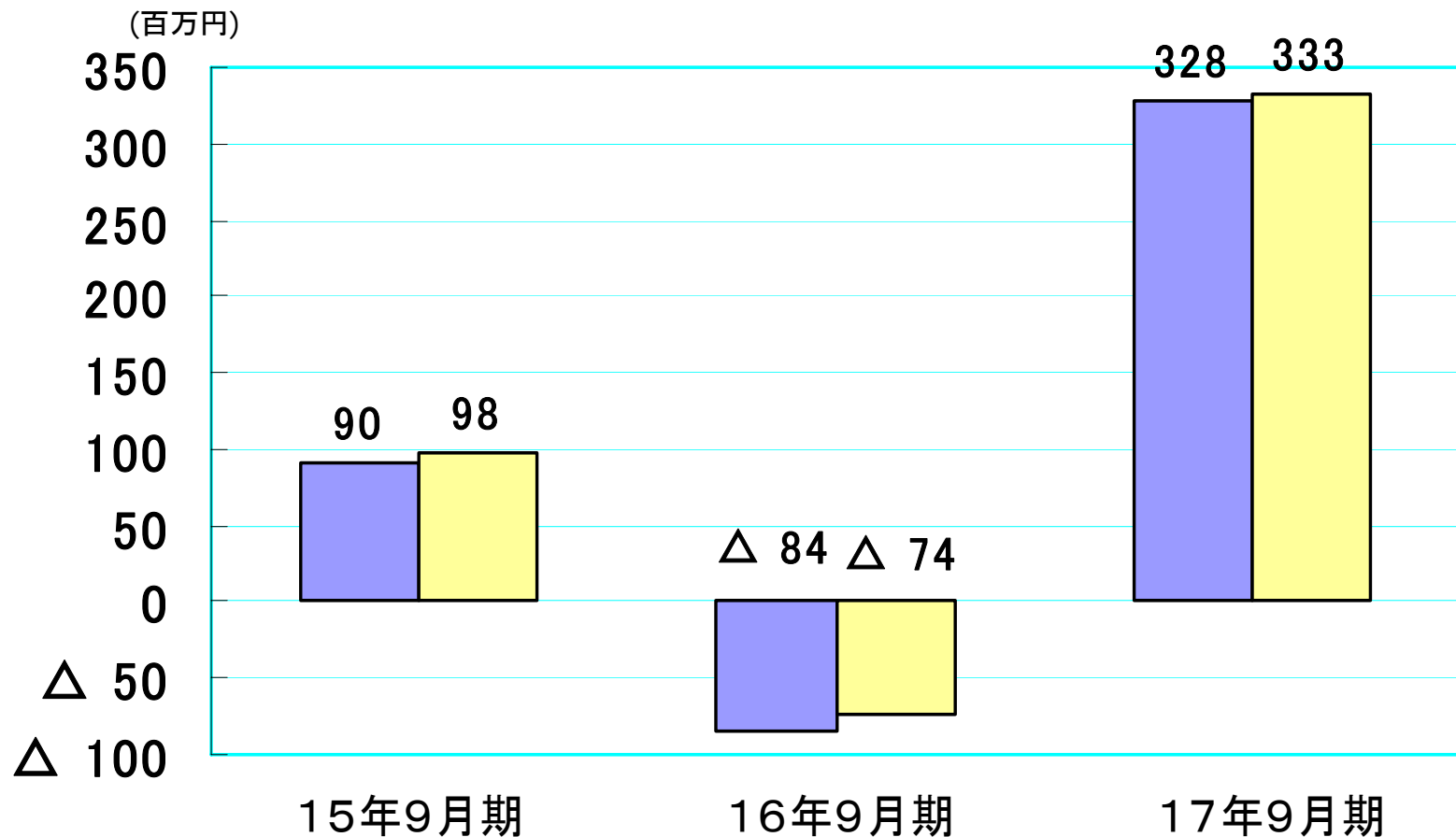
■ 連結
■ 個別

(百万円)



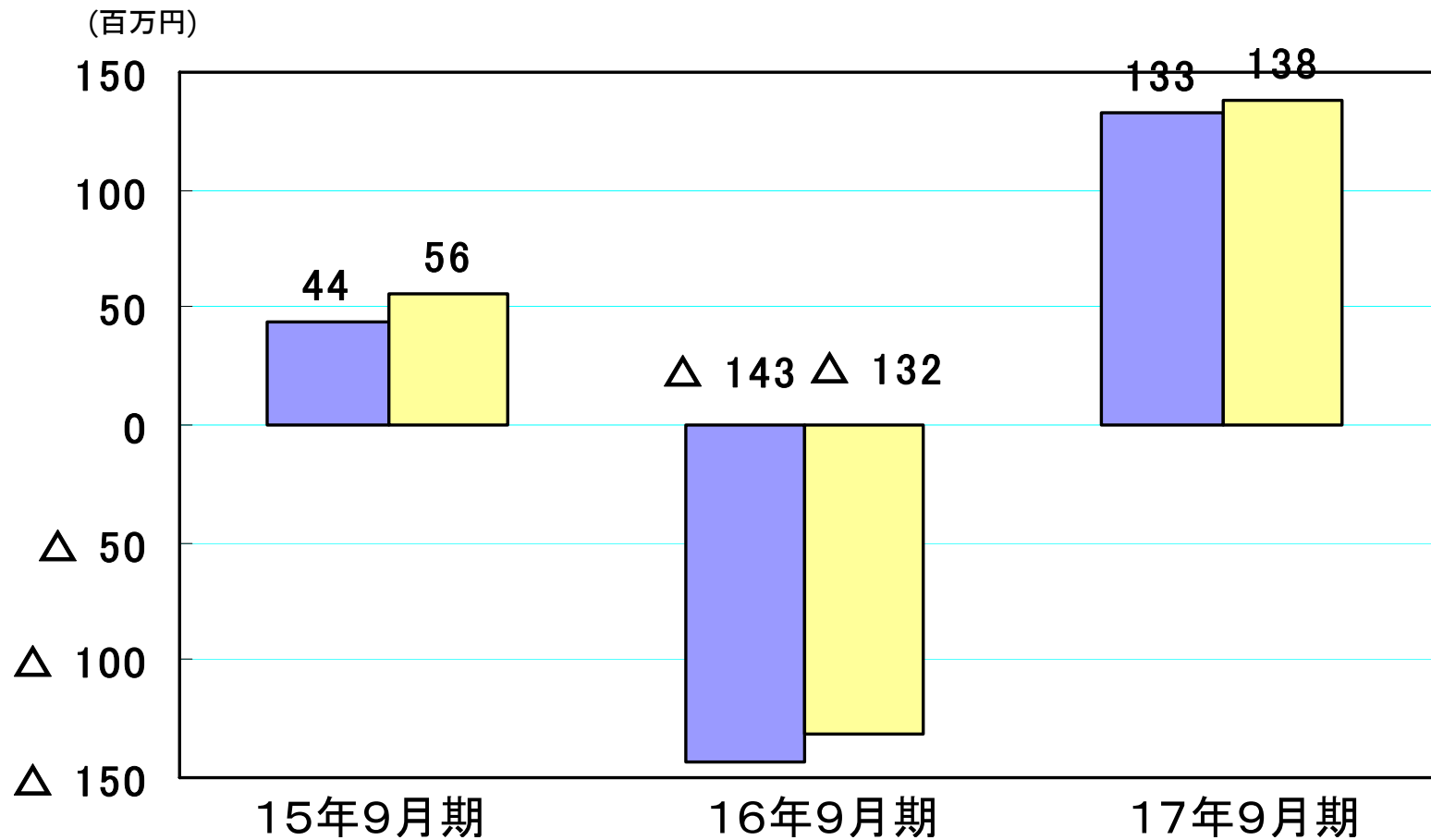
経常利益の推移（中間）

■ 連結
■ 個別



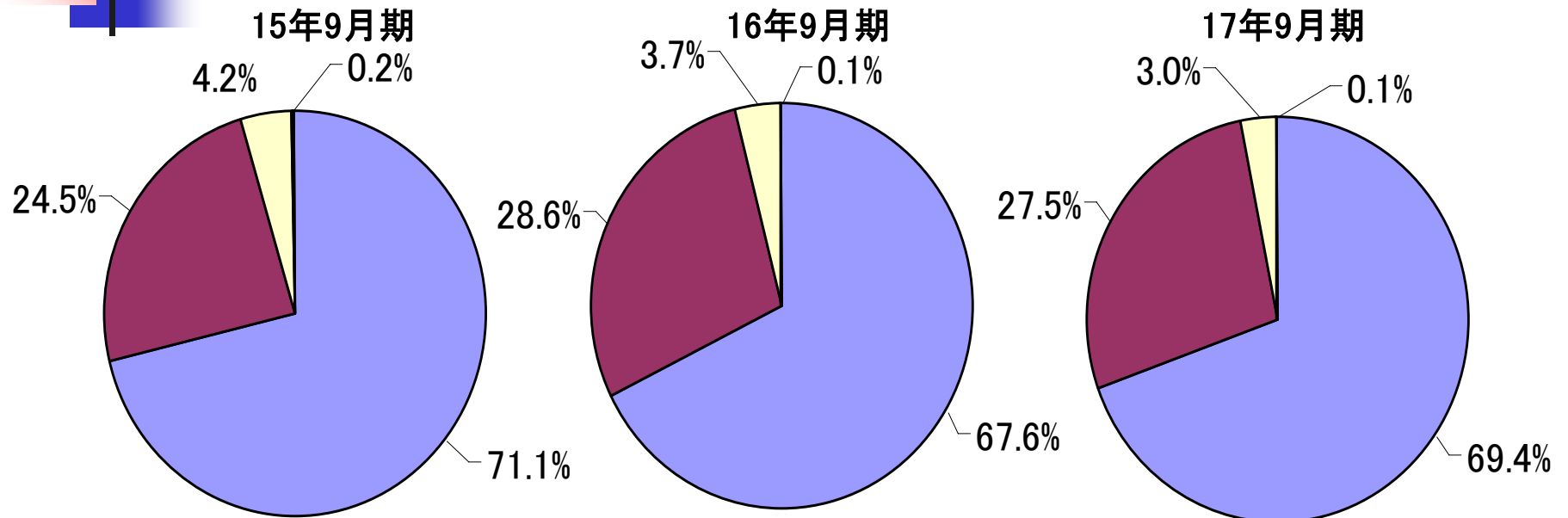
当期純利益の推移（中間）

■ 連結
■ 個別



セグメント別売上高 (中間/連結)

- ダイレクトメール
- セールスプロモーション
- イベント



(単位:百万円)

	15年9月期	16年9月期	17年9月期
ダイレクトメール	4,878	4,948	6,055
セールスプロモーション	1,681	2,097	2,397
イベント	291	269	265
その他	14	7	6
合計	6,865	7,322	8,724



平成18年3月期
通期業績の見通し

連結

売上高	1 8,250百万円	(前期比7.1%増)
経常利益	700百万円	(前期比110.9%増)
当期純利益	340百万円	(前期比220.9%増)

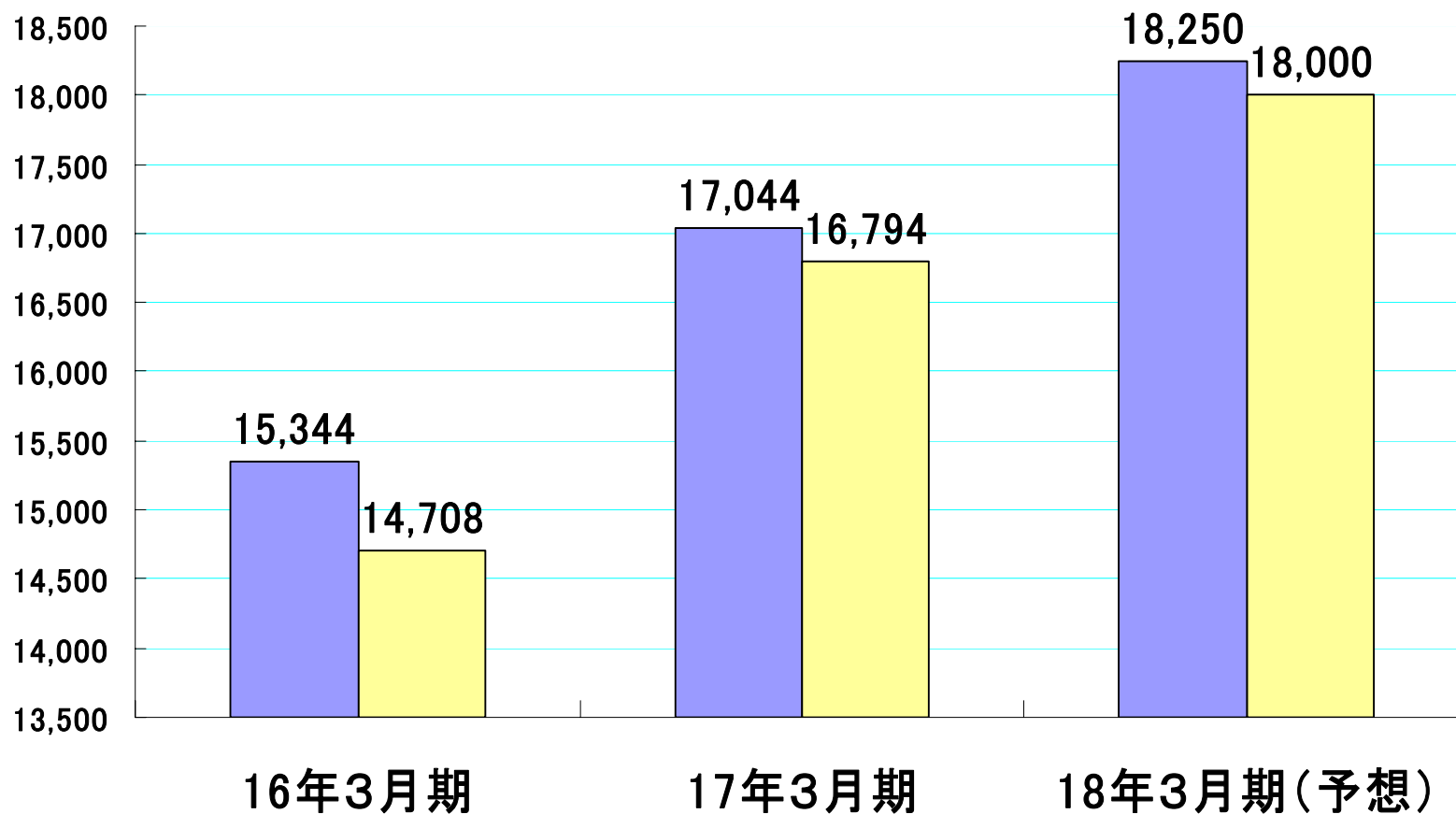
個別

売上高	18,000百万円	(前期比7.2%増)
経常利益	700百万円	(前期比104.6%増)
当期純利益	340百万円	(前期比191.3%増)
1株当たり年間配当金	20円00銭	(前期と同額)

売上高の推移（通期）

■ 連結
■ 個別

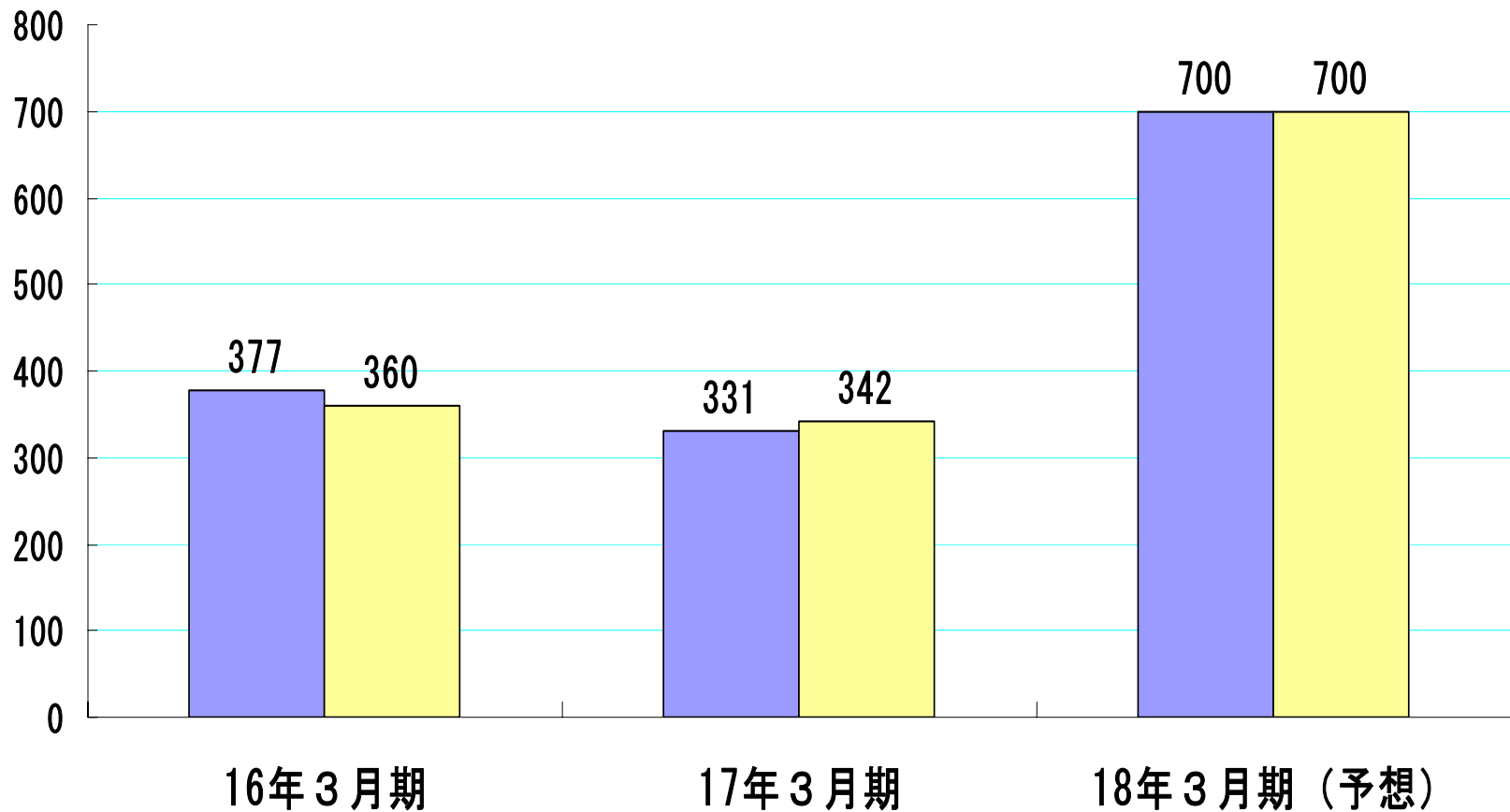
(百万円)



経常利益の推移（通期）

■ 連結
■ 個別

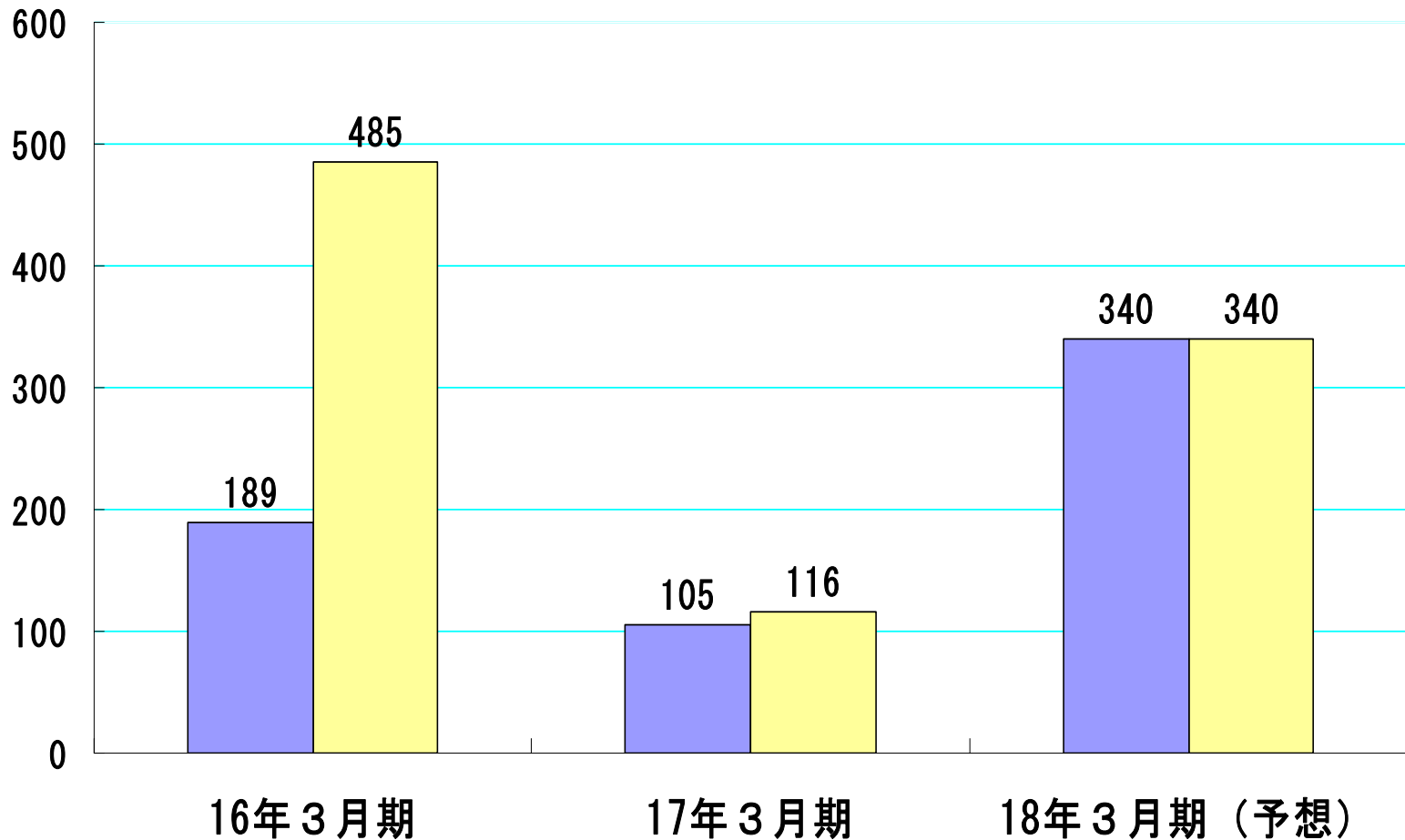
（百万円）



当期純利益の推移（通期）

■ 連結
■ 個別

(百万円)





会社が対処すべき課題

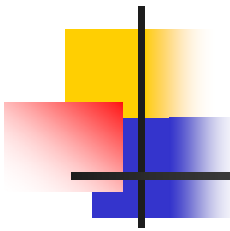
当社を取り巻く環境

- 景気回復傾向に伴い企業の広告需要の高まりが期待される。
- 得意先企業においては、顧客の志向特性に応じたきめ細かいマーケティング活動を重視する傾向が強くなっている。
- ❄ 顧客からの品質・価格・納期の要求水準が大幅にアップ。
- ❄ 個人情報保護法の完全施行で情報セキュリティが社会問題化。



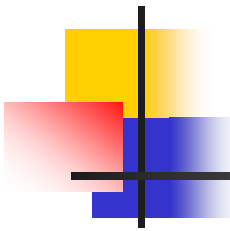
1. 最高レベルのサービス提供と内製強化

昨年8月より本格稼働を開始した“ディーエムエス業務センター”を中核とし、生産能力強化と生産性向上を強力に推進しております。同時に、個人情報流出リスクを低減するため、堅固なセキュリティを備えた業務センターにおける内製化を推進しており、安全性と生産体制の両面から、名実ともに「ワンストップ・サービス」を実現し、「品質・価格・納期・情報管理」の面で、業界最高レベルのサービスをご提供することを目指しております。



2. 周辺事業への進出

当社の誇るトータルサービスを支える様々な機能は、「高度な情報処理システムに支えられた最先端の物流加工業」としての強みになっています。今後はこれらの様々な機能を複合的かつ発展的に活用し、ビジネスチャンスを拡大するべく、周辺業務領域の拡張および紙の媒体であるダイレクトメールとの相乗効果が期待できるインターネット広告分野への進出など、各種施策を模索してまいります。



3. 個人情報保護による付加価値拡大

当社は、本年3月に第三回目となる「プライバシーマーク」更新審査を終え、さらに、マネジメントシステムによる管理水準向上を図るため、「ISMS認証基準Ver. 2.0」の認証を取得するなど、積極的に情報セキュリティの推進に努めております。今後もこの取り組みを維持・強化することで、さらに得意先企業の信頼獲得による受注活動の活性化と、消費者保護に努めてまいります。

業績見通しにつきましては、その目標達成に向けて事業を展開してまいりますが、経済状況や市場動向の変化など様々な要因により変動する可能性があります。

【本件資料に関するお問い合わせ】

株式会社ディーエムエス
(社長室)
TEL:03-3293-2961(代)